

# 崎津集落の情報発信がどのように行われているか

## 【テーマ設定の背景】

私達の身近にある崎津集落が平成30年度に**世界文化遺産**に登録され、国内でも数少ない世界文化遺産の情報発信方法に興味を持ったから。

## 【仮説】

天草の観光スポットなどを紹介するものが日本語だけであり、多言語での発信や観光地を訪れたいくなるようなアピール方法がされていないのではないか



## 【結論】

観光客数を増やすためには多言語での運用が必要であり、観光地のアピールの方法の工夫もしなければならなかった。

今後、新型コロナウイルスの収束は考えにくいですが、「withコロナ」に向けた新しい観光のあり方を考える必要があると思う。そのためにも、今のうちから取り組みを進める必要があると思った。

## 【検証方法】

天草市の身近な観光スポットに出向き、それを紹介しているSNSやパンフレット等が多言語で行われているかやアピール方法がどのようなものかをリサーチする。

## 【結果】

天草地域は国内外からの観光客に向けた取り組みを行っており、国内の人だけでなく国外の観光客にもわかるように多言語を使用していた。大人向けのパンフレットだけでなく、子供向けのパンフレットもあり、とても良い取り組みだと思った。アピール方法においてもイラストや写真、文章にふりがなをふる等でわかりやすく説明しておりその面も良いと思った。パンフレット等での情報発信も重要だとわかったが、何よりも世界文化遺産に登録されたことによりSNS上で「**世界文化遺産**」というワードを使用したことが観光客が増えた大きな要因ではないかと思う。

## 【参考文献・Webサイト等】

パンフレット / 世界文化遺産「天草の崎津集落」 / 天草市

[https://www.city.amakusa.kumamoto.jp/sakitsu-sekai/kiji00317/3\\_17\\_11213\\_up\\_ujbriww4.pdf](https://www.city.amakusa.kumamoto.jp/sakitsu-sekai/kiji00317/3_17_11213_up_ujbriww4.pdf) (1月9日)

その他SNS